

令和6年能登半島地震支援対応調整会議 (第2回)

令和6年1月11日(木) 11時00分～11時15分
於 災害対策本部室

次 第

- 1 概況説明**
- 2 各局報告事項**
- 3 副知事指示**

令和6年能登半島地震における都の対応状況等 (1月1日~10日分)

1. 被害状況等

(1) 被害状況等 (石川県発表 1月10日14時時点)

	石川県	輪島市
死者	206人	83人
負傷者	567人	51人
安否不明者	52人	41人
全壊・半壊	1,665棟	多数
一部損壊	149棟	多数
避難所	406箇所	166箇所
避難者	26,036人	12,040人
停電	約14,800戸	約5,900戸
断水	約58,909戸	約10,000戸 (ほぼ全域)

※輪島市の数値は石川県の内数



2. 現地での活動状況

○職員の派遣

- ・派遣職員が避難所運営支援や安否確認作業等を実施



○物資支援

- ・現地ニーズに基づき、被災地への食料や衛生品など日用品をはじめ物資搬送を実施



段ボールベッド



液体ミルク



紙オムツ

2. 現地での活動状況

○警視庁

- ・1/5（金） 機動隊130名、警察犬2頭が救助活動を実施
- ・1/6（土） 倒壊家屋より1名救助
- ・1/8（月） 第3次広域緊急援助隊警備部隊珠洲市到着、捜索活動開始
広域緊急援助隊交通部隊到着、「のと里山海道」交通規制
- ・1/9（火） 第3次広域緊急援助隊警備部隊、捜索活動
広域緊急援助隊交通部隊、「のと里山海道」交通規制
- ・1/10（水） **第3次広域緊急援助隊警備部隊、捜索活動**
広域緊急援助隊交通部隊、「のと里山海道」交通規制
第4次広域緊急援助隊警備部隊、出発
警視庁特別自動車警ら部隊、能登市・珠洲市へ向け出発

○東京消防庁

- ・1/5（金） ハイパーレスキュー隊が市立町野小学校からへりで傷病者1名を搬送
- ・1/8（月） 総務省消防庁からの出動要請
警防副本部3名、九本部機動部隊7名の計10名が石川県に出動
- ・1/9（火） 先遣隊10名、石川県に到着
東京消防庁から救助隊等48隊143名、稲城市消防本部から指揮隊1隊5名の計49隊148名が石川県に向け出動（18:08）
- ・1/10（水） 先遣隊は輪島市内で情報収集活動を実施
9日出動済みの派遣隊は能登町に到着

令和6年能登半島地震における都の対応状況等 (1月1日～10日分)

3. 各局等の対応状況

ニーズ	現地の状況	主な対応状況	所管局
避難所運営支援	避難者が多数おり、避難所の運営がひっ迫している。 現地及び総務省から支援の要請有	<ul style="list-style-type: none"> LO先遣隊が7日から避難所（ふれあい健康センター）の運営支援を開始 LO第2陣が9日から合流し活動中 本隊支援開始（10名は10日輪島市到着し活動中残り9名は羽咋市内宿泊地で情報収集） 	総務局
安否確認突合	確認作業の突合に人手が必要 (安否が確認された方を安否不明者名簿から削除する作業)	<ul style="list-style-type: none"> 1月7日からLO先遣隊の職員が突合作業を実施 	総務局
水道関係	断水がほぼ市内の全域（約10,000戸）で発生	<ul style="list-style-type: none"> 1月5日から職員計10名を派遣、輪島市及び志賀町で浄水場復旧のための取組を実施 1月7日から輪島市等で応急給水活動を実施 1月10日輪島市へ応急給水用の組立式仮設水槽30台を搬送 	水道局
下水道関係	下水道施設の早期復旧が必要	<ul style="list-style-type: none"> 1月8日から職員計5名を派遣 輪島市内の下水道施設復旧に向けた取組を実施中 11日に16名を追加派遣（計21名体制） 	下水道局

令和6年能登半島地震における都の対応状況等 (1月1日～10日分)

3. 各局等の対応状況

ニーズ	現地の状況	主な対応状況	所管局
災害廃棄物処理	災害廃棄物の処理に知見・支援が必要	<ul style="list-style-type: none"> 1月6日から環境省の依頼により、災害廃棄物処理支援のため石川県能登町に職員を5名派遣（災害廃棄物発生量推計、仮置場の開設準備等） 	環境局
医療従事者等の派遣	監察医及び保健師が不足	<ul style="list-style-type: none"> < 監察医の派遣 > 1名を石川県に、1月9日から1月13日の期間派遣 < 保健師班の派遣 > 4名を金沢市に、1月9日から1月14日の期間派遣 	保健医療局
被災者への都営住宅の提供	住宅倒壊など、被災者が県外に避難するための住居が必要	<ul style="list-style-type: none"> 被災者の都営住宅の受入れ（当面100戸程度） 1月10日から受付開始、12日から入居開始（先行20戸） 	住宅政策本部
義援金の受付	被害を受けた方への金銭的支援が必要	<ul style="list-style-type: none"> 1月5日義援金の募金箱設置（都庁舎内4箇所） 1月10日口座振込による義援金の受付開始 1月12日から都職員の義援金を募集予定 	福祉局 財務局 産業労働局 総務局

令和6年能登半島地震における都の対応状況等 (1月1日～10日分)

3. 各局等の対応状況

ニーズ	現地の状況		対応状況		所管局
物資関係	<ul style="list-style-type: none"> ・現地より液体ミルクの要望有 ・パルスオキシメーターの要望有 ・以下の物資について要請有 		<ul style="list-style-type: none"> ・液体ミルクについて、40箱(960個)が輪島市に到着済 ・パルスオキシメーターについて、配送を調整中 ・依頼された物資について順次対応中 		関係各局
	必要物資	必要数	発送数	備考	
	食料	1,000	1,000食	1/8到着済	
	紙コップ・紙皿・おわん	1,000	紙コップ1,000個 紙皿1,000枚	1/9到着済	
	割りばし	500	500本		
	ラップ	500	500巻		
	体ふきシート	500	424個	274個：1/9到着済 150個：1/11輸送開始、1/13到着予定	
	使い捨て手袋	1,000	1,000枚	1/9到着済	
	ブルーシート	1,000	1,000枚	発送時期の調整中	
	電池各種	500	単1から4まで各500個	1/9到着済	
	ごみ袋	500	500枚		
	マスク	10,000	10,000枚	1/8到着済	
段ボールベッド	128	128基	1/9到着済		

各局報告事項

○令和6年能登半島地震に伴う応援職員の派遣について (避難所運営業務の様子)



<避難所入口付近>



<先遣隊と合流して業務内容の引継ぎ>

○令和6年能登半島地震に対する職員義援金の募集について

- ・被災者の方々への支援を実施するため、職員から任意の義援金を募集
- ・対象：全職員（政策連携団体等にも協力を呼びかけ）
- ・金額：一口 1,000円
- ・募集期間：令和6年1月12日（金曜日）から同年2月16日（金曜日）まで

○応急給水【1/3～富山県高岡市、1/7～石川県輪島市】

- ・給水車による応急給水活動を実施（給水車2台・6名、本部要員3名）
- ・組立式仮設水槽（30台）を輪島市へ搬送（1/10～）



組立式仮設水槽

○復旧【1/6～輪島市・志賀町】（2隊・12名）

水道施設（浄水場、管路等）の復旧に向けた取組を実施

輪島市：浄水場の配水エリアごとに、復旧に向けた取組を実施

志賀町：取組結果等を踏まえ、管路復旧を実施（1/10～。工事事業者も帯同）



輪島市内での応急給水活動の様子



日本水道協会関東地方支部現地本部
（金沢市企業局内）

下水道局の対応状況

石川県からの要請に基づき、下水道施設の早期復旧を支援するため職員を派遣

支援業務

- ・ 輪島市内で下水道施設の現地確認
- ・ 石川県災害対策本部支援 等

1月8日（月） 1名を派遣

1月9日（火） 4名を追加派遣

1月11日（木） 16名を追加派遣
（計21名体制）



被害状況の確認（輪島市内）



県災害対策本部支援の状況



液状化により浮上したマンホール（輪島市内）

環境局の対応状況

- 環境省からの依頼による災害廃棄物処理支援を八王子市と連携して実施
- 石川県能登町に職員を5名派遣（1月6日～）
- 業務内容
 - ・ 災害廃棄物発生量推計
 - ・ 災害廃棄物処理フロー作成
 - ・ 仮置場の開設準備等の技術支援 等



被災したクリーンセンター



災害廃棄物仮置場候補地
(クリーンセンター駐車場)



被災家屋の状況（内浦地区）

被災者の都営住宅への受入れ

- 1月5日 都営住宅への受入れについてプレス（当面100戸程度）
- 1月9日 受付開始等についてプレス
（受付開始1月10日、入居開始1月12日（先行20戸））
- 1月10日 受付開始
（問合せ38件、受付（入居予定）21件<18時時点>）
※残りの80戸についても、備品設置の準備が整い次第順次あっせん

入居要件

- （1）入居資格:住宅が損壊するなど、居住継続が困難になった世帯
※原則、罹災証明書（半壊以上）を確認
発行が遅れる場合は後日提出
- （2）使用期間:当面6か月
（最長1年まで更新可）
- （3）使用料、敷金、駐車場使用料:免除

◆現地の状況（1/10 15時現在）

一部の市町村にボランティアセンターが開設されているものの、募集は在住者等に限定
受入れ態勢が整っていない地域が多く、問合せの自粛を呼びかけ

○石川県：県災害ボランティア本部を設置し、各市町のボランティア募集情報を発信
加賀市社協では、ボランティアを募集（市内在住・在勤限定）

○富山県：県災害救援ボランティア本部を設置
氷見市社協では、ボランティアを募集、活動を実施（県内在住者限定）

○新潟県：新潟市では西区社会福祉協議会に災害ボランティアセンターを設置
ボランティアを募集、活動を実施（県内在住者限定）

◆都などの対応

○東京都

ポータルサイト「東京ボランティアレガシーネットワーク」にてボランティア情報のほか、
NPO・NGO等の支援状況、義援金情報等について情報を発信(1/4～)

東社協やNPO・NGO等と連携して情報収集を継続、随時最新情報を発信

○東京都社会福祉協議会(T V A C)

「ボラ市民ウェブ」にて、各種募金・支援金情報、物資支援情報等、被災者支援情報を発信
都内区市の社協が街頭募金を実施

全国・県社協やNPO・NGO等とのネットワークを生かして情報収集を継続

副知事指示

- 被災地では、**長期的な支援を必要とする可能性があり、全庁をあげて対応**
- **最前線で活動する現地派遣職員等を全面的に支援**
- 時間経過とともに**変化する状況やニーズにも迅速・適切に対応**
（住家被害認定調査、罹災証明書発行など）